

日本臨床発達心理士会 中国・四国支部会報

Japanese Association of Clinical Developmental Psychologists

第27号(2017年1月24日発行)

発行 日本臨床発達心理士会中国・四国支部
編集 日本臨床発達心理士会中国・四国支部会報編集委員会
事務局 〒721-0964 広島県福山市港町二丁目19番1号 福山市立大学教育学部 倉盛研究室
TEL: 084-999-1111 (代表) FAX: 084-928-1248 (代表)

目次

- 1 ご挨拶
- 2 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第14回総会のご報告
- 3 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第40回研修会のご報告
- 4 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第41回研修会のご報告
- 5 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第42回研修会ご案内
- 6 編集後記



1 ご挨拶

日本臨床発達心理士会 中国・四国支部
支部長・幹事 猪木省三

あけましておめでとうございます。支部会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

支部長・幹事を務めております、広島県の猪木省三と申します。任期は2017年度までです。

中国・四国支部では、2015年度には日本臨床発達心理士会全国大会の開催をお引き受けして、盛会のうちに終えることができました。これをきっかけとして、支部の研修会等の活動を一層活発なものにして参りたいと考えています。

心理職の国家資格化の問題は、2015年9月9日に国会で「公認心理師法」が成立して、2年後の本年、2017年には施行されます。本年中には、政令、省令等で制度の具体的な内容が明確になります。現在、厚生労働省と文部科学省において、「公認心理師カリキュラム等検討会」及び「同ワーキングチーム」において、精力的に検討がなされています。その状況は、支部ホームページ

(<http://jacdpcs.org/>)にも掲載しております。なお、現任者に対する受験資格の経過的特例を設けることについても検討されています。日本臨床発達心理士会でも会員への受験支援が検討されております。

本年度第3回目の支部主催研修会を2月に愛媛県で開催することになりました。愛媛県の会員の皆様のご尽力に感謝申し上げます。支部主催研修会の開催地は、県別の会員数やこれまでの開催実績に配慮して選んでおります。今後は発達アセスメントや事例検討等のテーマも取り上げるべく検討しているところです。会員の皆様の研修会への幅広い、多くのご参加を、何卒よろしくお願い申し上げます。

ではこれからも、支部会員の皆様のご支援、ご協力、ご指導、ご鞭撻を、心よりお願い申し上げます。

2 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第14回総会のご報告

2016年度中国・四国支部総会を以下の通り行いましたので、ご報告いたします。

1. 日 時 2016年5月21日(土) 13:00~14:00

2. 場 所 岡山大学教育学部

3. 議題

(1) 2015年度活動報告

1. 第13回総会の開催

2015年5月31日(日) 県立広島大学

2. 研修会等の開催

支部第37回研修会 2015年5月31日(日) 県立広島大学において、青山新吾先生(ノートルダム清心女子大学人間生活学部児童学科)により「エピソードで語る特別支援教育～現場が「動く」とき、学校では何が起きているのか～」の講演

支部第38回研修会 2016年2月13日(土) 高知市勤労者交流館において、野坂祐子先生(大阪大学大学院人間科学研究科)により、「問題となる性行動を示す子どもの理解と支援」の講演

支部第39回研修会 2016年2月14日(日) ノートルダム清心女子大学において、村井敏宏先生(奈良県平群町立平群小学校)により、「読み書き支援の基礎理論」の講演

3. 会報の発行・ホームページによる情報の発信

会報を2回発行(5月、12月)

ホームページを随時更新(<http://jacdpcs.org/>)

4. 日本臨床発達心理士会第11回全国大会の開催

2015年9月5日(土)・6日(日)に、広島市の広島国際会議場で開催

会員の参加者約750名、公開講演の一般参加者約100名、合わせて約850名

5. 事例報告会の開催

2016年1月17日(日)に、香川県小豆郡の農村環境改善センターにおいて、「合理的配慮を意識した「気になる子ども」への支援」に関する事例検討会を実施

講師 七木田敦先生(広島大学大学院教育学研究科)

6. 役員会の開催

2015年5月31日(日) 県立広島大学

(2) 2015年度会計報告

下記の通り承認されました(別ページに掲載)。

(3) 2016年度活動計画案

1. 総会の開催

2016年5月21日(土) 岡山大学

2. 研修会等の開催

2016年5月21日(土) 岡山大学

この他に3回開催

3. 会報の発行・ホームページによる情報の発信

会報を2回発行(5月、10月)、ホームページを随時更新(<http://jacdpcs.org/>)

中国・四国支部					2016/5/9
2015年度収支計算書(案) (2015年4月～2016年3月)					
収入					
費目番号	科目	予算額	決算額	差額	
4111-01	士会からの送金	基本準備金	510,000	510,000	0
4111-02		活動補助金	1,320,179	1,320,179	0
4111-03		活動企画費	0	0	0
4111-Z		その他		0	0
4112-01	支部主催資格更新研修会参加費	支部研修会参加費(会員)	30,000	34,000	4,000
4112-02		公開研修会参加費(非会員)	0	0	0
4113-01	災害活動助成金	助成金(機構基金運用委員会から)	0	0	0
4113-02		助成金(外部団体から)	0	0	0
4371	預貯金利息	200	0	-200	
4379-01	雑収入	事務処理手数料	0	0	0
4379-Z		その他	0	0	0
当期収入合計(A)		1,860,379	1,864,179	3,800	
支出					
費目番号	科目	予算額	決算額	差額	
6221-01	支部総会運営費	会場費	20,000	0	20,000
6221-02		会議費	0	0	0
6221-03		印刷費	10,000	0	10,000
6221-04		通信費	0	0	0
6221-Z		その他	0	0	0
6222-01	支部研修会運営費	会場費	40,000	4,660	35,340
6222-02		会議費	0	6,460	-6,460
6222-03		講師謝金	117,000	130,302	-13,302
6222-04		講師旅費	60,000	43,410	16,590
6222-05		印刷費	30,000	0	30,000
6222-06		通信費	0	0	0
6222-Z		その他	60,000	37,610	22,390
6223-01	役員会運営費	会場費	10,000	0	10,000
6223-02		会議費	0	38,840	-38,840
6223-03		旅費	160,000	0	160,000
6223-04		印刷費	10,000	0	10,000
6223-05		通信費	0	0	0
6223-Z		その他	100,000	73,348	26,652
6224-01	NL関係費	印刷費	0	0	0
6224-02		通信費	0	0	0
6224-Z		その他	0	0	0
6225	ホームページ関係費	0	0	0	
6226	印刷費	30,000	0	30,000	
6227	通信費	30,000	3,690	26,310	
6228	消耗品費	0	0	0	
6211-01	人件費	アルバイト給与(発送、研修会、その他)	20,000	0	20,000
6211-02		アルバイト旅費(発送、研修会、その他)	0	0	0
6229	備品費	0	0	0	
6231-01	災害活動費	旅費	0	0	0
6231-02		通信費	0	0	0
6231-Z		その他	0	0	0
6232-01	他団体関係費	JDDネット(年会費)	0	0	0
6232-02		JDDネット(旅費)	0	0	0
6232-03		心理研修センター関係費(旅費)	0	0	0
6232-Z		その他	0	0	0
6233-01	渉外関係費	出張旅費	0	0	0
6233-Z		その他	0	0	0
6234-01	支部分割関係費	会場費	0	0	0
6234-02		会議費	0	0	0
6234-03		旅費	0	0	0
6234-04		印刷費	0	0	0
6234-05		通信費	0	0	0
6234-Z		その他	0	0	0
6239	雑費	100,000	30,180	69,820	
予備費		1,063,379	0	1,063,379	
当期支出合計(B)		1,860,379	368,500	1,491,879	
当期収支差額(A) - (B) = (C)		0	1,495,679	-1,495,679	

4. 事例報告会等の開催
各地域での開催の活性化
5. 役員会の開催
6. その他必要な活動

(4) 2016年度予算案

下記の通り承認されました。

中国・四国支部		2016/5/9	
2016年度予算書(案) (2016年4月～2017年3月)			
収入			
費目番号	科目	予算額	予算備考
4111-01	士会からの送金	基本準備金	518,000 2,000円×支部員259人
4111-02		活動補助金	205,300 2016年度(当期)支出予定額86100円(活動企画費100000円)含む - 2016年度(当期)収入予定額555700(51800+30000+7500+200) - 活動企画費100000 = 205300
4111-03		活動企画費	100,000 活動企画費(事例検討会補助金)が認められた場合
4111-Z		その他	発生した場合にのみ使用する費目(予算不可)
4112-01	支部主催資格更新研修会参加費	支部研修会参加費(会員)	30,000 500円×20人×3回
4112-02		公開研修会参加費(非会員)	7,500 500円×5人×3回
4113-01	災害活動助成金	助成金(機構基金運用委員会から)	0 205,300
4113-02		助成金(外部団体から)	0
4371	預貯金利息	200	
4379-01	雑収入	事務処理手数料	0
4379-Z		その他	0
	当期収入合計(A)	861,000	

支出				
費目番号	科目	予算額	予算備考	
6221-01	支部総会運営費	会場費	20,000	20000円×1回
6221-02		会議費	0	
6221-03		印刷費	10,000	10000円×1回
6221-04		通信費	0	
6221-Z		その他	0	
6222-01	支部研修会運営費	会場費	60,000	20000円×3回。1回は総会の日に開催するため3回分
6222-02		会議費	20,000	5000円×4回
6222-03		講師謝金	156,000	13000×3時間×4回
6222-04		講師旅費	80,000	20000円×4人
6222-05		印刷費	40,000	10000円×4回
6222-06		通信費	0	0
6222-Z	その他	90,000	15000円×2人×3回 支部が広域であるため研修担当者の交通費実費相当分を弁償するため、1回は総会の日に開催するため3回分を計上。	
6223-01	役員会運営費	会場費	10,000	10000円×1回
6223-02		会議費	15,000	
6223-03		旅費	160,000	10000円×16人
6223-04		印刷費	10,000	10000円×1回
6223-05		通信費	0	
6223-Z	その他	0		
6224-01	NL関係費	印刷費	0	
6224-02		通信費	0	
6224-Z		その他	0	
6225	ホームページ関係費	0		
6226	印刷費	事務印刷費	30,000	
6227	通信費	事務通信費	30,000	
6228	消耗品費		10,000	
6211-01	人件費	アルバイト給与(発送、研修会、その他)	20,000	
6211-02		アルバイト旅費(発送、研修会、その他)	0	
6229	備品費		0	
6231-01	災害活動費	旅費	0	
6231-02		通信費	0	
6231-Z		その他	0	
6232-01	他団体関係費	JDDネット(年会費)	0	
6232-02		JDDネット(旅費)	0	
6232-03		心理研修センター関係費(旅費)	0	
6232-Z		その他	0	
6233-01	渉外関係費	出張旅費	0	
6233-Z		その他	0	
6234-01	支部分割関係費	会場費	0	
6234-02		会議費	0	
6234-03		旅費	0	
6234-04		印刷費	0	
6234-05		通信費	0	
6234-Z	その他	0		
6239	雑費			
	予備費		100,000	活動企画費(事例検討会補助金) 50000円×2回
	当期支出合計(B)		861,000	
	当期収支差額(A) - (B) = (C)		0	

(5) 支部規約の改定

現行	改定案
一般社団法人 臨床発達心理士認定運営機構 日本臨床発達心理士会 中国・四国支部規約	一般社団法人 臨床発達心理士認定運営機構 日本臨床発達心理士会 中国・四国支部規約
第2条(事務局) 本会は、事務局を広島県東広島市鏡山1-1-1 広島大学大学院教育学研究科 七木田研究室 室内に置く。	第2条(事務局) 本会は、事務局を広島県福山市港町二丁目19番1号 福山市立大学 倉盛研究室内に置く。

(6) その他

1. 会員数

255名(2016年5月現在)

鳥取 26、島根 11、岡山 45、広島 37、山口 27

徳島 13、香川 9、愛媛 62、高知 19、その他 6

(会員自身が「会誌送付先住所」に設定している住所をもとに集計)

2. 公認心理師について

3. その他

以上、出席者の賛成多数により総会で承認されました。

3 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第40回研修会のご報告

2016年5月21日(土) 岡山大学教育学部(岡山市)にて、中国・四国支部第40回研修会が開催されました。「発達障害支援における臨床発達心理士の役割～地域を基盤とした早期支援の実践から～」というテーマで、藤田久美先生(山口県立大学)より講演を賜りました。

地域の中で、保護者同士が支え合う場の創出、また、子どもたちがよりよく生きていくための環境づくりに臨床発達心理士がいかに貢献できるであろうか。講師の藤田先生は、山口県立大学を地域の拠点としながら、インクルーシブな視点を包含した子育て支援の理念をもとに発達障害の診断前から児と家族への長期的な支援を行っておられ、今回は、先生の実践例を紹介していただきながら、冒頭の問いについて参加者とともに考えていきました。

藤田先生が取り組まれているフォーマル・インフォーマルサービスとして、まず、地域・学生のボランティアシステムの構築ならびに母親の居場所づくりとしての山口県立大学地域交流スペース Yucca を活用した「ママかんフリーカフェ」の紹介がありました。また、障がいのある児・家族への診断からその後の長期的な支援を通して見えてきた多様な家族の成長の姿についてエピソードを交えて紹介くださいました。10年後、20年後の子どもの育ちに寄



与するためには、そこに携わる支援者自身が、児・家族の心の動きを時々刻々と読みとることの重要性が指摘されました。その後、子どもや家族の新たな居場所づくりとして、NPO による療育の様子が紹介されました。研修会に参加した特別支援学級・通級指導教室・療育等・大学等、多様な場で子どもたちの支援に関わっている専門家の多くから、アクティブラーニングを取り入れながら、参加者が互いに意見交わし合えるアットホームな雰囲気の中、臨床発達心理士の実践的な役割を学ぶことができた研修会であったといったお声を多く聞くことができました。

参加者人数は 45 名、土会各支部主催の研修としての資格更新ポイントは 1 ポイント(3 時間)でした。

4 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第 41 回研修会のご報告

2016 年 7 月 9 日(土)、ビッグハート出雲(島根県出雲市)にて、中国・四国支部第 41 回研修会が開催されました。「ADHD のある子どものための包括的支援を学ぶ」というテーマで、山下裕史朗先生(久留米大学医学部教授)ならびに高橋恵美子先生(島根県立大学看護学部准教授)より講演を賜りました。

夏休みの数週間を用いて、集中的に援助を行うことで、ADHD のある子どもたちに、自尊心とやる気、落ち着きを与える包括的治療プログラム「サマー・トリートメント・プログラム(STP)」について、久留米大学の取組み、島根県立大学出雲キャンパスでの取組みについて、前者については、山下先生より、後者については、高橋先生より紹介が行われました。

サマー・トリートメント・プログラム(STP)とは、米国ニューヨーク州立大学のペラム教授らの手により開発され、全米各地で毎夏に行われている ADHD のある子どもへの援助プログラムです。くるめ STP は、この米国のプログラムを日本の実情に合わせて全面的に改変したものです。夏休みの数週間を用い、ADHD のある子どもたちが半合宿形式で継続的に参加し、行動療法と SST(社会的スキル訓練)を柱とし、一日の多様な課題の中で達成感を体験していきます。当日は、くるめ STP の様子と、くるめ STP の取組みを参考に実施されている島根県立大学出雲キャンパスでのプログラムの様子が映像・画像を交え、紹介されました。

研修会に参加した多くの教育関係者から、プログラムの具体的内容や現在の課題まで広く紹介していただき、日々の支援に活かしていけるポイントが見つかったとの声を多く聞くことができました。

参加者人数は会員の参加者数は 15 名、非会員の参加者数は 13 名、計 28 名でした。土会各支部主催の研修としての資格更新ポイントは 1 ポイント(3 時間)でした。



5 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第 42 回研修会のご案内

2 月に愛媛県松山市で、次のような研修会が開催されます。たくさんの会員の方々のご参加をお待ちしております。研修会の参加者ポイントは(1)区分の 1 ポイント(3 時間)です。

くわしくは、支部ホームページ(<http://jacdpcs.org/kenshu.htm>)をご覧ください。

日 時：平成 29 年 2 月 12 日(日) 13:00~16:00(受付 12:30~)

会 場：愛媛大学教育学部 1 号館 4 階 401 教室

松山市文京町 3 番 <https://www.ehime-u.ac.jp/overview/access/johoku/>

講 師：東 敦子先生（児童発達支援センター「のぞみ学園かめあり」（東京都葛飾区）園長）

内 容：発達につまずきのある子どものコミュニケーション力を育てる支援

事前の申し込みは不要です。

研修参加費として 500 円を徴収いたします。ご理解のほどお願い申し上げます。

参加の際には、参加記録ノートと ID カードをご持参下さい。お忘れの場合は研修ポイントの発行はできません。

ID カードにバーコードが記載または貼付されていることを事前にご確認ください。

開催年度の会費を納付済であることを日本臨床発達心理士会の会員情報管理システムで事前にご確認ください。

開始後 10 分以上の遅刻をした場合及び終了 10 分以上前に退出をした場合は、研修ポイントの発行はできません。ご注意ください。

6 編集後記

あけましておめでとうございます。会員のみなさまにおかれましては、多忙な毎日をお過ごしの方も多いかと存じます。

一昨年 9 月に「公認心理師法」が公布され、平成 30 年には第 1 回目の国家試験が実施される予定です。現任者の受験資格や大学・大学院での養成課程のカリキュラムの詳細などは、現在「公認心理師カリキュラム等検討会」において検討されています。近いうちにその結論も出てくる予定です。公認心理師についての情報は、随時、日本臨床発達心理士会からのニュースレターやメールマガジンでもお知らせがあるかと思えます。また、中国・四国支部ホームページ（<http://jacdpcs.org/>）にも掲載しております。

公認心理師関係の他、会員にかかわりのあるトピックスや最新の情報、研修会などのご案内、支部会報のバックナンバーなども支部ホームページに掲載しております。支部への情報提供は以下の宛先か支部事務局までお寄せください。

【宛先：yashima hbg.ac.jp】 ご利用の際は、 を@に変えてください

支部からのお知らせは、日本臨床発達心理士会の会員管理用システム SOLTI を通じまして、メール配信等行いますので、メールアドレスや各種会員情報に変更がある場合は、ご自身で SOLTI の情報を最新のものに登録し直していただきますようお願いいたします。

（編集委員会）